

「山の道と海の道」海幸・山幸物語
～つながり伝える文化財まちづくり～

日南市歴史文化基本構想

平成 23 年 3 月

宮崎県日南市

「山の道と海の道」海幸・山幸物語
～つながり伝える文化財まちづくり～

歴史
基本構想
文化

平成 23 年 3 月

宮崎県日南市



北郷 郷之原（東から）



酒谷（東から）



鉄肥（南から）



吾田（南東から）



東郷（北西から）



油津（南から）



細田（東から）



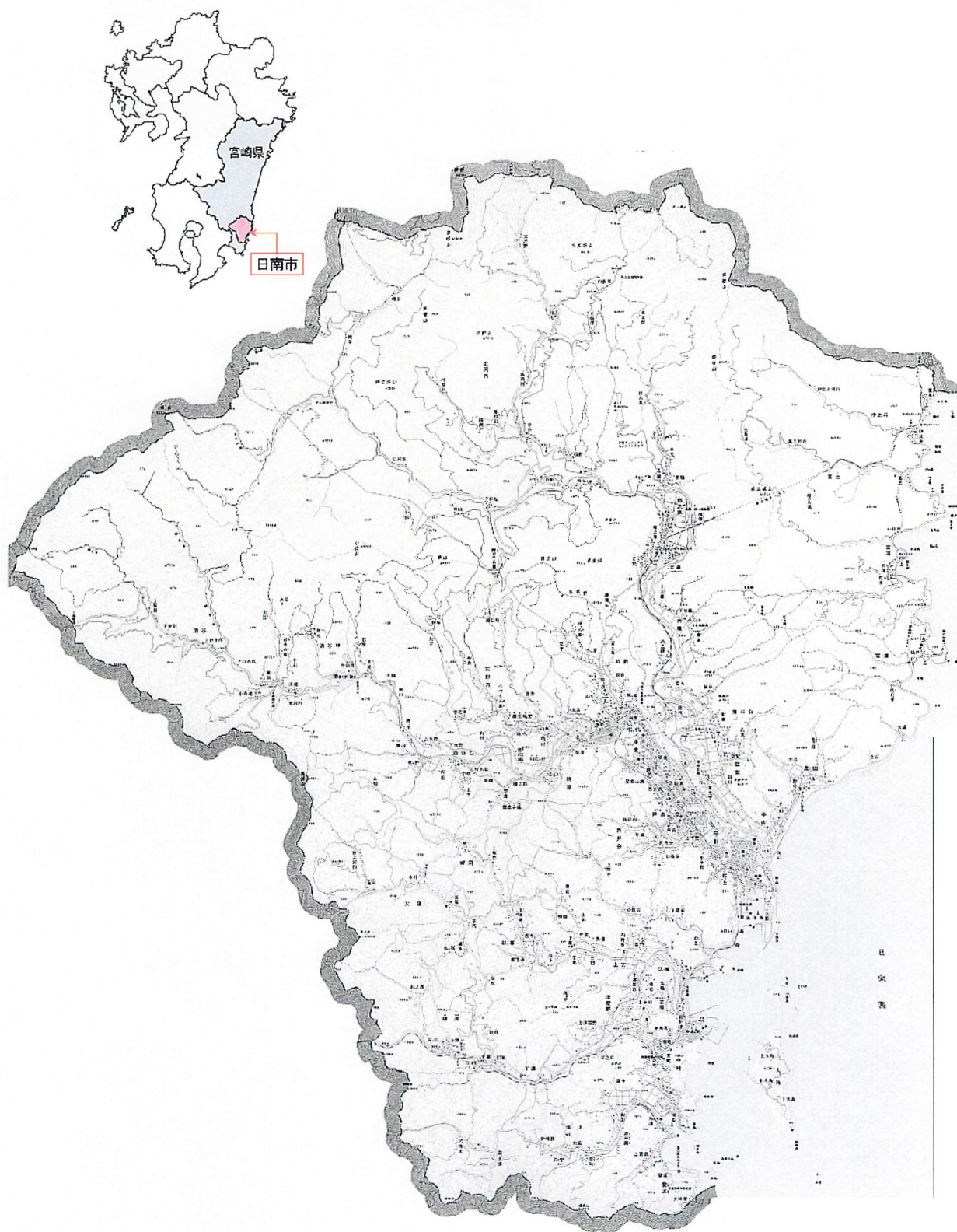
南郷 外浦（南から）



榎原（南から）



鵜戸（日南海岸）



日南市管内図

はじめに

日南市は、宮崎県南部の日向灘に面した温暖多照で、碧い海の日南海岸、緑の飫肥杉美林に囲まれた自然環境豊かな土地です。平成 21 年 3 月 30 日に日南市、南郷町、北郷町の 1 市 2 町が合併して、人口 5 万 8 千人の新「日南市」となりました。

市内には、海幸山幸神話の舞台となった日南海岸国定公園内の鵜戸神宮や、九州で最初に重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた飫肥の歴史的町並み、マグロと飫肥杉で栄えた港町油津と堀川運河、日本の棚田 100 選に選ばれた坂元棚田などがあり、全国に誇るべき地域資源に恵まれています。

さらに、高温多湿の土地で育つ山の幸の飫肥杉は、成長が早く、油分が多く、曲げに強いことから造船材として優れており、西日本で造られる木造船の多くは飫肥杉が使用されていました。その飫肥杉はいまや宮崎県全域に植林されて、平成 3 年度から 20 年連続で宮崎県が杉丸太生産量日本一を誇っています。海の幸では、昭和初期の東洋一のマグロの水揚げとともに、現在は、一本釣りカツオの漁獲高が日本一を誇ります。

こうした地域の資源は、自然環境豊かな地域の歴史の中で育まれたもので、日南市の個性を代表するものであります。今後、こうした地域固有の資源を市民と行政が協働で再発見し、その価値を共有しつつ、新市のまちづくりに活かしていくことが、地域の誇りと一体感を醸成する上で不可欠な作業であると考えております。

今回、文化庁から文化財総合的把握モデル事業の委託を受けて、日南市歴史文化基本構想を策定することとなりました。本基本構想が、文化遺産を活かしたまちづくりの指針となれば幸いです。

最後になりましたが、これまで御指導、御協力いただいた関係機関・関係者各位に心から御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

日南市長 谷口 義幸

例 言

1. 本書は、文化庁から文化財総合的把握モデル事業の委託を受けて、平成 20 年度から平成 22 年度にかけて実施した成果を、日南市歴史文化基本構想としてまとめたものである。
2. 本事業は、平成 20 年度に日南市、南郷町、北郷町の一市二町の事業として文化庁から採択されたが、平成 21 年 3 月 30 日に上記一市二町が合併したため、日南市として報告する。
3. 本書の編集、執筆は日南市教育委員会文化生涯学習課と株式会社文化財保存計画協会が共同して行った。なお、第 3 章 2 は宮崎県文書センター永井哲雄が執筆した。
4. 第 3 章 2 の用語は、宮崎県文書センター所蔵文書で使用されているものを使用している場合がある。
5. 本書に掲載した写真は、主に市教育委員会文化生涯学習課が撮影したが、関係部局・関係機関等の撮影によるものも借用した。
6. 本書に記載した「日南市」、「南郷町」、「北郷町」は、平成 21 年 3 月 29 日以前は合併前の旧行政区を示し、平成 21 年 3 月 30 日以降の「日南市」は合併後の新「日南市」を示すものとする。

目 次

はじめに

例言

目次

第1章 歴史文化基本構想策定に至る 経緯・経過と目的	1
1. 基本構想策定に至る経過	1
2. 基本構想策定の目的	2
3. 基本構想策定の体制	3
4. 基本構想策定の経過	5
5. 上位計画及び関係機関との連携	12
第2章 日南市の概要と課題	15
1. 位置	15
2. 沿革	16
3. 自然環境	17
4. 社会環境	18
5. 社会環境等に関する課題	21
6. 歴史的変遷	22
7. 民俗	29
第3章 日南市の地域特性	33
1. 地理的特性	33
2. 各地域の歴史的特性	35
第4章 まちづくりの経過と地域活動の現況	81
1. 文化遺産を活かしたまちづくりの経過	81
2. 地域活動の現況	83
第5章 文化遺産の定義と調査の考え方	88
1. 文化財保護行政の歩み	88
2. 文化財の指定状況	94
3. 文化遺産の定義	96
第6章 文化遺産の保存活用（管理）と体制	98
1. 文化遺産の現状と課題	98
2. 文化遺産の再発見	102
3. 文化遺産の保存・継承について	106
4. 文化財指定の考え方	109
5. 文化遺産の情報発信について	110
6. 法的整備	111
第7章 文化遺産のデータベース	112
1. 文化遺産データベース作成の目的	112
2. 文化遺産の種類	113
3. 文化遺産データベースの構成と運用	114

第8章 関連文化財群の設定と保存管理（活用）	119
1. 日南市における歴史文化保存活用の主軸 （テーマ）	119
2. 関連文化財群設定の基本的考え方	120
3. 関連文化財群	125
1) 飫肥城とその城下	125
2) 飫肥杉林に囲まれた坂元棚田	134
3) 港町油津と堀川運河	141
4) 鵜戸山信仰と日向神話	148
5) 榎原神社と門前町	154
6) 外浦・目井津・大堂津と町並み	160
7) 飫肥街道と山仮屋関所	167
8) 伊東と島津の中世城郭群	173
第9章 歴史文化保存活用区域の設定	180
1. 歴史文化保存活用区域の考え方	180
2. 歴史文化保存活用区域	182
1) 飫肥城下町保存活用区域	182
2) 飫肥杉林と坂元棚田保存活用区域	184
3) 港町油津と堀川運河保存活用区域	186
4) 鵜戸山信仰と日向神話保存活用区域	188
5) 榎原神社と門前町周辺保存活用区域	190
6) 外浦・目井津・大堂津と町なみ保存活用区域	192
7) 飫肥・山仮屋間の飫肥街道に接する 保存活用区域	194
第10章 歴史文化基本構想の周知及び見直し	196
1. 基本構想の活用	196
2. 基本構想の見直し時期	197

資 料

1. 文化遺産一覧表	1
2. 近世墓碑調査	16
3. 日南市内石造物調査	17
4. 日南市の中世城郭調査一覧	21
5. 既往資料・参考資料	22
6. 年中行事地区別一覧	24
7. 宮崎県文書センター資料一覧	27
8. 市総合計画 抜粋	37
9. 年表	40